

enocoのそうだん [eno so done!]

## 相談シート15 共同で制作したり、表現を通じて人々がつながれるようなアートを

[トップ](#) >> [enocoのそうだん \[eno so done!\]](#) >> 相談シート15

### アドバイザー

日下 慶太 (広告代理店勤務 コピーライター/写真家/セルフ祭顧問)

1976年大阪生まれ大阪在住。ロシアでスパイ容疑で拘束、アフガニスタンでタリバンと自転車を二人乗りなど、世界をフラフラとしながら広告代理店に入社。コピーライターとして勤務する傍ら、写真家、商店街を舞台とした奇祭「セルフ祭」主催者、UFOを呼ぶバンド「エンバーン」のリーダーとして活動している。商店街のユニークなポスターを制作し町おこしにつなげる『商店街ポスター展』の仕掛人。ツッコミたくなる風景ばかりを集めた『隙ある風景』日々更新中。 <http://keitata.blogspot.jp>



### 相談者

大阪府立大学ボランティアセンター、学生スタッフ

### 相談分野 (キーワード)

地域活性

市民協働

観光

まちづくり

文化

広報・PR

その他

## 主な相談内容

大学近辺の商店会でアートイベントを実施予定で、他の地域でもやっている「まちなか美術館」のようなものをイメージしている。堺にゆかりのあるアーティストを中心に公募を行い、店舗とのマッチングをして展示を行う予定。ただ、初めての経験なのでそもそもこの進め方でいいのか疑問をもっている。

### Q 1

そもそもアートで地域活性化は図れるでしょうか。

### A 1

「地域活性化×アート」でイベントを行う場合のパターンは3つあると思います。

- ① 有名なアーティストを呼んで地域を活性化させる。
- ② 作品を共同で制作したり、表現をすることで人々がつながり、地域が活性化する。作品の質よりも人々がつながることを重視する。
- ③ ①+②を掛け合わせたアーティストと地域住民が絡むアートインレジデンス

正直なところ相当用意周到にして時間とお金をかけなければ、①と③は集客と収益につながらないことがほとんどです。アートは人を選ぶと僕は考えていますが、「表現すること」は人を選ばないと思います。なので、②に焦点を絞ってはどうか。

例えばバナーなど応募のフォーマットを決めて作品を募集して、作品数で魅せる作戦や、みんなで一つの巨大な(シンボリックな)作品をつくって駅前のロータリーに展示するなどはどうでしょうか。

あと、府立大にダンス部、軽音部、奇術部など、「表現」している学生がたくさんいるなら、彼らに表現出来る場所をつくってあげたらどうでしょうか。意外とステージ以外で表現できるのは嬉しかったりするものです。

### Q 2

商店街の回遊性を高めるにはどうすればよいでしょうか。

A 2

回遊性を持たせるためには、お店に入ったら面白い！と思わせる仕掛けをつくる必要があります。私が関わった伊丹のポスター展では、ポスターの展示だけでなく、各店舗に面白いサービスやお得なサービスをつくってもらいました。理髪店でモヒカン1000円とか、マッサージ無料とか。住民参加の呼びかけに効果的な方法は、わかりやすいメリットがあることです。ピール券がもらえとか、「しらすぎ」チョコがもらえとか。あとはスタンブラー的な仕組みを加えてみるとか。

Q 3

イベントの開催まであまり時間がないのですが…。

A 3

商店会が一番は、「イベントをすることによって店舗に集客を実感してもらおうこと」。大学側はアーティストを大事にしたいのか、参加者たちの結びつきを大事にしたいのかを考えるべき。そうするとプロセス重視で、自分たちが一番何をやったら楽しいのか？店と密着型にすべきだ、など次々と焦点が絞られていくはず。

ポイントは、地域色で勝負すること。メインイメージとイベントの目玉をつくり、それに「しらすぎ」らしさ、府大らしさを結びつけること。店の回遊性をあげる仕掛けも忘れずに。今年は、来年の企画に結びつくようなイメージで実施することを考えましょう。

## 相談者の声

漠然とした状態で相談に行ったので、もっと「ここを聞きたい」を整理しておけば、より深みのあるお話を聞けたかもしれないと感じています。しかし、客観的に自分たちの企画がどのように見えるのかについて、率直な意見をいただくことができ、大変参考になりました。五里霧中でやっている私たちにとって（だからこその面白さもありますが）、このような相談の場があることは大変ありがたいことでした。

## その後の動き

「何か目立つシンボリックなものがあっていい」そして「地元らしさを出した方がいい」というアドバイスを参考に、イベントでは白鷺駅前のロータリーに、堺の地場産業である注染和晒手ぬぐいを用いた「巨大手ぬぐい行灯モニュメント」を飾りました。また、中百舌鳥キャンパスの白鷺門から中百舌鳥門までのフェンスに、大阪府立ボランティアセンターV-stationの主催で子どもたちと描いたアート作品を飾る「楽垣アート」の展示を行い、大きく注目されました。  
[http://michitake.osakafu-u.ac.jp/2015/02/18/rakugaki\\_20150214/](http://michitake.osakafu-u.ac.jp/2015/02/18/rakugaki_20150214/)

サイトポリシー・  
プライバシーポリシー

指定管理者

バナー広告募集

> enocoについて

> 事業紹介

> フロアガイド

> レンタルスペース

> お知らせ・プレスリリース

> メルマガ登録

> ニュースレター

> お問い合わせ

> アクセス

いいね! 0

ツイート

